

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	スマイルひろば匠 長野若宮店		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 28日		~ 2026年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12人	(回答者数) 12人
○従業者評価実施期間	2026年 1月 28日		~ 2026年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数) 8人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員を基準以上(5~6名)配置している。	職員が常に多く事業所に居るため、運動や個別療育などの時間以外にも、1日を通して遊びや身辺自立など、個々の発達に合わせた支援を行うことができている。	職員のスキルアップと、資格者の採用を増やしていく。
2	運動を毎日の活動に取り入れ、身体を育てるとともに集団行動の経験を積み重ねている。	運動を小集団で一緒に行う中で、順番を理解して待つこと、最後までやりとげ達成感を得ること、友だちと協力すること、などの経験ができるようにプログラムを立てている。	集団経験の良さもある反面、感覚過敏やこだわり等の特性から集団拒否が見られるお子さんに対して、ワンフロアゆえの難しさがある。活動内容の工夫や、その時その時に合わせて柔軟な対応を心掛けていく。
3	個別療育を別室で実施。指示が入りやすく、出来ることを増やすことが出来る。	個々の課題や特性に応じてねらいを定め、1対1で1人30分の個別的な療育を行っている。 実施した内容は当日の連絡帳で保護者にお伝えし、後日1ヶ月まとめた記録をお渡ししている。	来年度は年長児が増えるので、就学に向けて1対2や小グループでの療育をしていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	賃貸物件であるためトイレや洗面所が1か所しかないこと。ワンフロアの施設のため、クールダウンやお昼寝などの別対応が難しいこと。 近隣からの理解が得られず、駐車場での水遊びが出来なくなってしまうこと。	賃貸物件のためリフォームにも限度があるのでソフト面でカバーできるようにしている。トイレは声掛けのタイミングを表を使いながら時間差で行い、混みあわないようにしている。パーテーションで仕切ったり、個別療育で使う個室を使用したりしながら別対応をしている。	別室へ行くことだけでなく、毛布を被る、好きな玩具で気持ちを変える、など個々の落ち着く方法を見つけていく。夏場の水遊びが難しくなったが、療育的なねらいを持って活動内容を考えていきたい。
2	地域の子どもや、保育園幼稚園と関わる機会がない。	1日中事業所内に居るのではなく、公園や長野市の施設へお出かけし、地域の子どもがいる場所で一緒に過ごせる機会を作っている。保育園や幼稚園とは連携体制をとって併用利用や移行を進められるようにしている。	地域の方を事業所にお招きしたり、保育課の学生の実習を受け入れる等、障害福祉の理解を深められるように運営していけたら良いと考えている。まずはブログやインスタなど情報発信に取り組んでいきたい。
3	今年度はご利用希望者の方が多く、退会者も少なかったため、新規利用をお受けすることが難しかったこと。 又、利用を希望されても相談員に繋がるまでに時間がかかってしまったこと。	幼稚園との同日併用も受け入れ、枠を増やしたり、契約曜日以外でも支給日数に余裕がある場合は受け入れる対応をした。	当法人に相談支援事業や放課後等デイサービス事業が展開されていくと、保護者も安心できると思われるので、将来的に事業が拡大していくと良い。そのためにも法令遵守し、地域から信頼を得られる運営をしていく。

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 スマイルひろば匠 長野若宮店

公表日 2026/3/29

利用児童

数 12人

回収数 12人

	チェック項目	回答状況				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7	4	1	0	外でプールが出来なくなったのはとても残念だった。 近隣住人から理解を得られなかったのが仕方ないですが、野外での水遊びが出来ないのが残念です。	今年度から駐車場での水遊びが出来なくなったため、室内で色水や泡や氷などを使って感触遊びをしました。今後も地域の方にご迷惑おかけしないかたちで療育活動をしていきたいと思ひます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	12	0	0	0		規定以上の職員を配置し、全ての職員が保育士、児童指導員、強度行動障害研修終了者、などの資格を保持しております。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	0	0	1	新しい配置になってから詳しく室内を見たことがないので、どんなお部屋かあつてどのような意図でそのような配置になっているのかなどそれぞれの設備のお写真と説明を紙面などにまとめて教えていただけるとありがたいと思ひます。	運動や遊びをする広いスペースと、食事や製作を行う机上スペースをロッカーで仕切る配置で構造化しております。視覚支援なども利用のお子様に合わせて理解しやすいかたちで掲示しております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11	0	0	1	最近お伺いしていないので詳しくはわかりません。 お昼寝では息子がご迷惑をおかけして本当に心苦しいのですが、お昼寝をしない子のお部屋もあるといいなと思ひます。	令和8年4月から年長児が増えるため、就学に向けて生活リズムの円滑な移行を考慮し、一斉お昼寝を中止します。未満児さんや年少さんなど眠くなってしまうお子様は個室でお昼寝対応をしていきます。
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11	1	0	0	特に子供の特性に応じた専門的な支援が受けられていると感じます。	ご意見ありがとうございます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12	0	0	0	水遊びについて、もう少し子どもたちが思い切り活動できるようにしてもらえたら嬉しいです。公園やプール施設等の利用も検討してみたいです。	今年の夏は駐車場でプールが出来なくなったため大豆島公園やハイウェイオアシスの噴水で遊んだり、ながノビへお出かけすることもありました。今後もお子様の安全を考えながら活動していきたいと思ひます。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12	0	0	0		児童発達支援管理責任者が保護者様と面談し、日々の事業所での様子を見ながら、直接支援員の考えも踏まえて個別支援計画を作成しております。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12	0	0	0		個別支援計画には、本人支援、家族支援、移行支援、全ての項目に目標を掲げ、支援内容を設定しております。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12	0	0	0		個別支援計画と現場の支援が解離しないよう児童発達支援管理責任者が直接支援員に支援方法を理解しやすく伝えるよう努めています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12	0	0	0		運動メニューはお子様の理解が深まるように1ヶ月継続し、飽きないよう道具を変える等の工夫をしています。生活の流れも利用のお子様の成長とともに柔軟に変更しながら支援をしております。
	11 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	4	0	2	6		園や地域と子ども同士が交流する機会はありますが、併用利用や移行を進められるよう支援会議や園訪問などを行い連携体制をとっております。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11	1	0	0		契約時に重要事項説明書に運営規定、支援プログラムの内容も含まれており、必ず読み上げを行い、同意を得てから利用開始していただいております。利用者負担は無償化のご説明もしております。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11	1	0	0		「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明をし、同意を得てから利用開始し、半年に一度見直し、新たな個別支援計画を作成しております。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	1	1	2		発達支援センター主催のペアレントトレーニングに、対象となる保護者様へお声がけしました。事業所ではペアトレは実施できませんが、保護者茶話会など情報提供の機会を行っています
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	11	1	0	0	支援していることが分かるような紙を個別で頂けたらと幼稚園や病院のOTに渡したりしたいです。 本日の運動の内容を詳しく教えてほしいです。	個別療育は月末に1ヶ月分の記録を保護者様にお渡ししております。又、連絡帳に個別療育や運動の様子を写真付きで載せております。詳しい個別療育や運動についてはブログで詳しく紹介しておりますのでご覧いただければと思ひます。

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	1	1	0	月1回まで個別面談を承っております。利用希望表にて個別面談の予約が出来ますのでご利用ください。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11	1	0	0	送迎時や連絡帳など短い時間や文章の中では誤解が生じる場合もあるかもしれません。個別面談などじっくりお話しできる機会を設けておりますので、活用していただきたいと思います	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	4	1	1	保護者同士の交流の機会が年1回のみで少なく感じている。 親子イベントになかなか参加する機会がないので残念でした。 きょうだい児同士の交流、少し気になっております。体育館等で運動会のようなみんなで身体を動かせる機会があるといいなと思っています。	今年度は、保護者茶話会を6月に開催しました。働いている保護者様が多く頻りに開催することは難しいですが、年1回は実施していきたいと考えております。昨年度は2月に親子参観を開催しましたが、今年度はインフルエンザが流行し、開催できませんでした。今後も感染症などの状況を見ながら実施を検討したいと思います。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	1	0	1	個別面談の希望を利用希望表とともに予約していただいております。又、保護者様送迎が多いので送迎時に緊急的に相談の申し入れがあれば、迅速に相談をお受けしております。	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10	1	0	1	毎日連絡帳で様子を文章で記入し、次回の連絡帳に前回の写真を添付してわかりやすくお伝えしております。保護者様の記入欄も設けており、ご家庭での様子もお伺いしております。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	11	0	1	0	月1回スマイル通信の発行、ブログの更新など活動の様子をお伝えしております。自己評価結果は会社ホームページにて公表しております。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12	0	0	0	連絡帳やブログなど顔や名前は隠すように配慮しておりますが保存がうまく出来ていないことがあるため必ずダブルチェックをし、特にインターネット上に漏れないよう最善を尽くしたいと思います。	
	非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	2	0	1	職員会での研修や訓練の実施報告は、保護者様にお便りやブログでお伝えしております。各種マニュアルは玄関に設置し、保護者様がいつでも閲覧できるようにしております。
24		事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10	2	0	0	併用している園での2月に1度の避難訓練は参加出来ていないので、緊急時の対策はもう少しやって欲しい。	児童対象の避難訓練は、年3回（火災、地震、水害）全員が参加できるよう1週間実施しております。今年度は6月に保護者引き渡し訓練も実施しました。
25		事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9	2	0	1	お弁当を持参していただいております。窒息や誤飲防止のため中身の確認をしております。	
26		事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	0	0	2	緊急時はまず保護者様に連絡をすることになっております。今まで病院へ搬送する事態になったことはありませんが、緊急時に慌てず対応できるように、今年度は職員全員、乳幼児救命講習を受けました。	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	12	0	0	0	困り事への対応力が徐々に育って来たように思う。子ども自らが、通所が自分にとって良い経験と感じていると思う。	ご意見ありがとうございます！
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	11	1	0	0	子どもはとても楽しみにしているのでこれからも通わせたいです！！	ご意見ありがとうございます！
	29	事業所の支援に満足していますか。	11	1	0	0	いつも大変お世話になっており、先生方には感謝がありません！いつもありがとうございます！	ご意見ありがとうございます！

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		スマイルひろば匠 長野若宮店				公表日	2026/3/29
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	療育室は約56㎡あり、国の基準以上の広さを満たしている。	現状を維持する。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1	規定以上の人員配置が出来ている。	なかなか採用が難しいので、退職者が出たときに不安がある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1	トイレと洗面所が1か所しかないので不便さがあるが、その時々での支援やDIYで工夫できている。	夏の水遊びを駐車場が出来なくなったことが残念。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	活動に応じて玩具や遊具を出し入れしており、室内に玩具の棚などが設置されていないぶん療育室が広々としている。	運動の道具や個別療育の教材など物が多いので、収納できるスペースがもっとあると良い。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1	療育室とは別に、個別療育を行う個室が1つある。	個室を1人が使用していると他の子が使えないので、クールダウンが出来る部屋が、もっとあると良いが、現状は事務室で対応している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	1	月1回、半日営業にして職員会を開催。非常勤職員も参加し、ケース会議や業務改善に向けた話し合いをしている。	職員の経験や知識に差があるので支援方法の統一が難しい。研修などでスキルアップをしていきたい。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	評価表はスマイルひろば匠ホームページで公表している。	現状を維持する。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	8	現在のところ、実施していない。	現状を維持する。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	職員会で新しい知識を得る機会があるが、外部研修は勤務時間の関係で出席できない職員が多い。	支援員の学びの機会がもう少しあると嬉しい。他の事業所の現場を実際に見たり体験することで、自分の技術のアップデートになると思う。以前、発達支援センターで研修させていただいたことがとても良い経験だったので、また是非そのような機会が持てたらと思う。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	2025年2月にホームページに公表。および保護者には印刷したもの配布している。	現状を維持する。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0			

又 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0		
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1	基本的には保護者の希望や園の体制によるが、支援会議が開催できれば参加している。必要に応じて園訪問もしている。	非常勤職員は園の様子を見に行ったり会議に参加していないので、連携体制が分からない。常勤職員から共有する機会を作っていきたい。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	今年度は2名のお子様保育園へ完全移行した。	今後も園と連携をとりながら移行に向けた支援を行う。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	3月に移行支援会議に参加し、小学校や放デイへ支援方法を引き継いでいる。	当法人は東京都に放デイがあるが、長野県にはないため、別の法人の放デイを保護者に探していただいている。今後、同法人で放デイを開所できることを望んでいる。
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	1	児童発達支援センターの先生から定期的にアドバイスをいただいている。外部研修にも積極的に参加している。	非常勤の職員は時間が合いにくく研修の機会が少ないので、共有していけるようにしたい。
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	7	園や地域と交流する機会は園側や地域の事情もあるため、現状なかなか難しい。	園と併用利用しているお子様も多いので、今後も移行を進めていきたい。
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0		
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	2	発達支援センター主催のペアレントトレーニングに、対象となる保護者へ声がけた。	外部の研修の情報も、保護者に発信していきたい。
	32	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0		
	33	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0		
	34	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0		
	35	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0		
	36	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	8	0	6月に保護者茶話会を実施し、3名の保護者にご参加いただいた。	働いている保護者も多いので頻回には出来ないが、年1回は開催していきたい。

保護者への説明等	37	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0		
	38	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	0		
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0		
	40	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0		
	41	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	8	区費をお支払いし、地区と情報連携しているが、事業所にお招きしたり、地区のイベントに参加することは難しい。	現状を維持する。
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、初動マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	8	0	今年度は6月に水害訓練、9月に地震訓練、2月に火災訓練を利用児童とともに実施した。	現状を維持する。
	43	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	月1回の職員会にて計画的に研修を実施している。	現状を維持する。
	44	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	0		
	45	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	おやつのアレルギー品目を対象となる保護者に確認を取た上で提供している。昼食は各自弁当持参なので、アレルギー該当児童が他児の弁当に触れないよう環境設定をしている。	R8.4月からおやつを廃止するが、今後も食事場面では配慮をしていく。
非常時等の対応	46	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	今年度は職員全員、乳幼児救命講習を受けて、心肺蘇生法やAEDの使い方を学んだ。	現状を維持する。
	47	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか	8	0	今年度は6月の避難訓練で、保護者引き渡し訓練を実施し、避難所の三陽中学校までお迎えに来ていただいた。	避難する事になった時に、会社用携帯があると良い。
	48	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	今年度は外出時1件、室内4件のヒヤリハットがあったが、事故や怪我はなかった。外出時は帽子が飛んで川に落ちた、室内では玩具の破損、高い場所へ登る、などの事例があり防止策を講じた。	現状を維持する。
	49	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	事業所内での虐待防止研修は全職員で実施。長野市主催の研修には管理者が参加した。	現状を維持する。
	50	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	0		